

メキシコ来訪時の荷造りの勧め

山本美緒

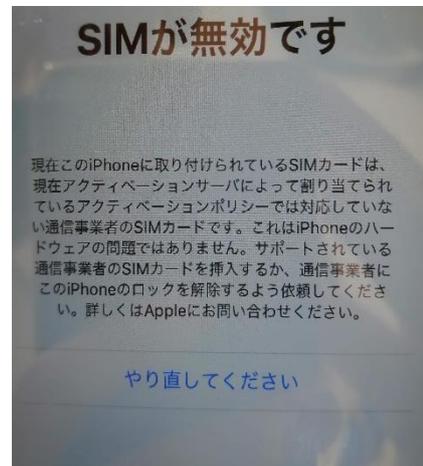
メキシコでアジア系は目立つ。じろじろ見る文化と何でも質問する文化が相まって「こっち来てどれくらい経った？」と聞かれることはとても多い。そのため、と言うわけでは全くないのだが、つい先日「日付カウントダウンアプリ」を入れ、驚愕した。というのも、到着してから優に50日以上が経過していたからだ。あまりの驚きに鳥肌すら立ったが、この調子で1年過ぎてしまうのはあまりにももったいないので、この携帯アプリを初日から活用することを、声を大にしておすすめしたい。

そんなこんなで、CEPEの最初のコースが終了した。休暇初日からメキシコ各地に飛び立つ日墨生のアクティブさには頭が下がる。もうすぐ日本を離れてから2か月が経つわけだが、不自由さは感じていない。ただし、いくつか持ってくるべき、逆に要らなかったものがあるので、今回はそれについて話をしたい。

まず、持ってくるべきだったもの。「目薬」コンタクト勢がひーひー言っている。裸眼勢の問題は特に聞かないが、コンタクトは乾燥がひどいらしい。目に入れるものはやはり怖いので、こちらのものではなく日本から持参の方がいいだろう。「SIMフリー携帯」こちらで店頭販売されている携帯は少し高い。事前に日本でメルカリなどで購入するのが安く済む一番賢い方法だろう。「クリアファイルなどファイル系」まず日本のようなものは売ってないし、高い。CEPEでプリントが多いクラスになることもあるため、穴あけパンチや2穴ファイルがあると便利だろう。「ホットキス」ペンケースに入るサイズの物はやはり非常に便利。2枚以上のレポートを提出することもあるため、必須。しかしホットキスの芯の規格が日墨で異なるので、芯も持参する必要あり。「0.3のシャー芯」0.3のシャーペンを持っているなら必須。大きめの文房具屋に行っても「ない」といわれ、途方に暮れている。「リュックサックのレインカバー」毎日の急な土砂降り対策にとっても便利、教科書や電子辞書が濡れない。「スペイン語教材」日本は新宿などの大きな本屋に行けば日本語学習者向けのコーナー



↑薬局で咳の薬と重曹を購入。併せて100ペソほど。



↑このような表示など、SIMに悩まされるメンバーも数人いた。

がずどーんとあるが、こちらで外国人向けスペイン語教材を見つけるのは至難の業。DELEやSIELEの対策をしたい人はぜひ持参を。

次に、持ってくる必要のないもの。「ボディミルク」NIVEAやDoveなど購入できる。多少成分の違いはあるとの事だが、敏感肌の自分も問題なく使用できている。「化粧品」Revlon、Macなど購入できる。少しこちらの方が安いかもしれない。「薬」

風邪薬や咳の薬など「日本のは効かないから」と他の日墨生がくれた。持参するのは葛根湯とラッパのマークぐらいでいいかもしれない。「日本食材」割高だが買える。「ジーパン」Oasis Coyoacan でも 200 ペソくらいから買える。「生理用品」旅行時の貴重なスーツケースのスペースの多くを占める、とても考えさせられる必需品。日本で、薬局で一番安い部類のものを買っているのであれば、こちらのウォルマートやコンビニで買える「Saba」というブランドのもので全く問題ない。ただし、カモミール(manzanilla)の匂い付きはかぶれるらしいので要注意。タンポンは周りの日本人からの評判があまりよくない。パンティライナーは普通



↑日清のカップラーメンと UFO は信用しなきゃいけないらしい。この乾麺は美味しいと評判、美味。



↑Minisoのマニキュア一本30ペソほど。

に売っている。「マニキュア」miniso のマニキュアが安くてかわいいので大抵問題ないが、ブラウン系の落ち着いた色味のものや、リキュールネイルはこちらでは売ってないかも。

大体の物はこちらでも買うことができるが、どうしても日本製にこだわりたい物も人によってはあるだろう。日本から郵送してもらうことも可能だが「液体物」「プラスチック製品」「一部の食料品」は税関ではじかれてしまうらしい。荷造りに迷った際は、

上記の3点を優先するべきだろう。

個人的な問題としては、メキシコで剣道ができるとは思っていなかったもので、防具どうしよう、、、忘れていたが、9月の一大イベント独立記念日について一言述べるとすれば、9月15日どんなにはしゃいで寝るのが遅くなってしまっても、9月16日は早起きして独立記念塔の近くに陣取ってパレードを見に行くべきだ。

次回テーマについては未定です。何かあればどしどしお寄せください。Chao Chao.

Instagram/@mio.ymmt.mex